

WINE ENTHUSIAST

— As Hollywood Strikes, Kyle MacLachlan Goes All In on Wine

August 15, 2023

by Adam Robb

“カイル・マクラクラン、ハリウッドのストライキを受け、ワインに全力投球”



「カリフォルニアは私の目指すところではなく、ボルドーが私のインスピレーションの源なのです」

そう語るのは、90年代から2000年にかけて大人気を博したテレビドラマシリーズ「ツインピークス」の主演俳優でありワシントン州ワラワラにあるワイナリー“パースード・バイ・ベア”のオーナーであるカイル・マクラクランです。

カイル・マクラクランは、ゾーイ・クラヴィッツの監督デビュー作や、ビデオゲーム『Fallout』のテレビ映画化作品への出演を控えており、依然として現役の俳優です。しかし、ハリウッドの俳優組合が7月にストライキを執行して以来、カイルは『デスパレートな妻たち』出演時代から情熱を注いできたワイン造りに完全に集中しています。



もちろん、有名人のワインへの関与は最近に始まったことではありません。フランシス・フォード・コッポラは今日、映画監督と同じくらいワイナリーオーナーとしても有名かもしれません。ジョニー・デップは2007年に、当時のパートナーであったヴァネッサ・パラディの

ために、プロヴァンス地方にあるブドウ畑のエステート、プラン・ド・ラ・トゥールを手に入れ、大きな話題となりました。同じ頃、ブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリーは、人気のあるロゼを造るシャトー・ミラヴァルを買収しました。エリザベス・バンクスは缶入りワインブランド、アーチャー・ルースのチーフ・クリエイティブ・オフィサーを務めており、ジョン・ボン・ジョヴィとその息子はアメリカで最も急成長しているロゼ、ハンプトン・ウォーターの責任者です。



カイル・マクラ克蘭（右） ワインメーカー ダン・ワンプラー（左）

しかし、カイルはこのセレブ集団の中でも際立っています。有名なシェイクスピアの舞台演出にちなんで命名され、ワイン醸造家のダニエル・ワンプラーとともにプロデュースしている『パースード・バイ・ベア』では、俳優である彼自身がブドウの選定や樽の選択に積極的に参加しています。それが功を奏しているのは明らかで、パースード・バイ・ベアの最近のヴィンテージのいくつかはワイン・エンスージヤスト誌のエディターズ・チョイスに選ばれており、その中には2022年のブラッシング・ベア・ロゼと2019年のベイビー・ベア・シラーが含まれています。

カイルはこの夏を締めくくるため、間もなくワシントン州に戻る予定です。「数日間テイスティング・ルームに滞在し、新しいヴィンテージについてミーティングを行い、1、2軒のブドウ畑と2、3の栽培者を訪問する予定だ」と彼は語りました。



オルカのリュックを背負って

カイルは最近、全米映画俳優組合（SAG-AFTRA）のストライキが迫っていた6月に行った最後の海外旅行で、ボルドーのことをよく考えています。「いつも映画監督のデヴィッド・リンチと一緒に行く話をしていたんですけど、実現しなかったんです。でも、今は何も予定がないし、家族と一緒に行く時間を作りました。それはとても意義深い機会でした」と彼は話しています。



この小旅行は、ワシントン州のコロンビア・ヴァレーにある故郷に考える多くの課題を与えてくれました。彼は語ります。「ボルドーの地図を見たり本を読んだりしたことはありますが、実際にサンテミリオンやボイヤックの畑、そしてマルゴの畑の違いを理解するためには、実際に訪れてみる必要があります。また、右岸と左岸の違い、テロワールのニュアンス、どの品種がどのエリアで最も適しているかということもです」と彼は言います。

最近、カイルはパースード・バイ・ベアのテイスティングルームで過ごすことが増えています。この2月、ワラワラのダウントウンにある元ヘアサロンを改装してオープンしました。「オーナーが外壁の色を変えないでくれて良かったです。今は『ロゼ・ビル』と呼んでいます」と彼は語ります。テイスティングルームの内部には、高さ3mのクマのブロンズ像があり、カイルが不在の珍しい日に訪問者を出迎えます。クマはワイナリーの各ボトルを装飾しています。このブランドは、カイルの息子が生まれた2008年にベビー・ベア・シラーを発売したものです。「今は、クマから抜け出せないんだ」と彼は笑います。



自分自身がブランドの顔になるよりも、（熊の方が）ましなのです。「私はワインを前面に出し、私自身は背景に徹することを望んでいました。一誰かがちょっと調べれば、カイル・マクラランが手がけるワインはこれだとわかるはずですよ。『これは人々がワシントン州のワインが非常に優れていて、毎年品質が向上していることを知る機会でもあります。価格も手ごろで、カリフォルニアのワインよりもお買い得です』と彼は語ります。

そして少なくともワインに関しては、彼はまだ注目されることに慣れていないとカイルは話します。

「初めてワインのレビューを見た時のことを覚えています」と彼は振り返ります。自分のワインがワイン・スペクテイターによって評価されたことを知っていましたが、そのレビューを実際に目にしたことはありませんでした。「ワシントン州のワインの評価が掲載されているページをめくった瞬間、『パースード・バイ・ベア』と書かれていて、とても興奮しましたが、

ほんの一瞬だけ『他の誰かが同じ名前のワインを持っているのかな？』と思ったこともあります。自分の名前が文字で印刷されているのを見るのは、本当に驚きでした。自分の演技に関するレビュー記事を記憶しているなんてことありませんね」と彼は話します。

もちろん、カイル・マクラクランの俳優業に続く、「ワイン」における第二章の成功には、彼の俳優としてのキャリアに感謝する部分があるかもしれません。ファンは間違いなく、デビュー作でもある1984年の映画『Dune』での彼の役柄を覚えているでしょう。その映画は広く酷評されましたが、すべてが悪い結果ではありませんでした。なぜなら、それがデヴィッド・リンチとの生涯の友情の始まりでした。リンチはスクリーン・テスト後に彼にシャトー・リンチ・バージュのボトルを贈り、実質的にカイルをボルドーに導いたのです。

そして1999年のニューヨーカー誌に掲載された、リンチ監督の迷信を思い出さずにはいられません。彼は「ワインのないところに悪い知らせはやってこない」という信念を持っています。したがって、その知恵に従えば、カイルのワインへの関心は間違いなく明るい話題と言えるでしょう。



...pursued by bear

パースード バイ ベア

Pursued by Bear



Youtube 動画



ワイナリー説明
WEBサイト

ORCA
INTERNATIONAL

輸入発売元

オルカ・インターナショナル株式会社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-2-19 9F
TEL 03-3803-1635 FAX 03-3803-1637 www.orca-international.com